

平成29年度 当初予算

問い合わせ先
財政課財政係 ☎ (22) 2111 (内線221)

事業の目的や効果を厳しく見極め、市民との情報の共有、連携・協働により、元気な中野市の実現に向けた予算編成としました。

一般会計
予算額

224億1,400万円

前年度比 2億8,800万円の増(101.3%)

一般会計の予算規模は、総額224億1,400万円、平成28年度当初予算比較では、金額にして2億8,800万円、率にして1.3%の増となりました。

平成29年度は、第2次中野市総合計画前期基本計画の2年目であり、また、中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業が3年目を迎えることから、将来の中野市を見据え、地域の実情に合った市民生活に直結する各種施策を、より効果的かつ効果的に展開していく必要があります。

そのため、先行き不透明な経済・雇用情勢に対応しながらも、市民の安心した生活を支えるため、ハード・ソフトの両面から各種施策を実施します。

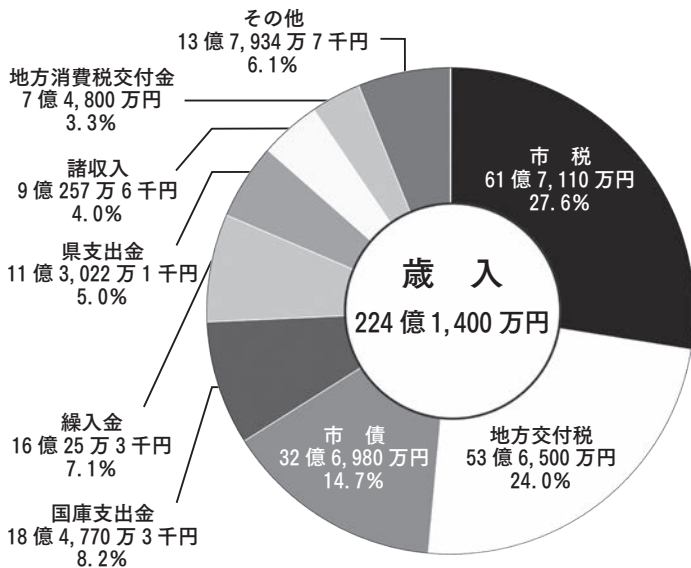
また、総合計画に位置付けられた各種施策・事業をはじめとし、国の施策などにも着実に対応しました。

このほか、人口減少・少子化対策として、移住・定住促進を図る各種事業、手厚い子育て・保育環境の充実、協働による地域づくりを推進するため、事業を自ら実施する意欲ある若者および女性などが行う活動を支援するほか、豊かな地元産農産物や観光資源といった中野市の「魅力」を内外へ発信するなど、未来への礎となる予算としました。

将来都市像「緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち」に向けた6つの柱

総合計画の施策に掲げた次の6項目を基に、事業の重点化を図ります。



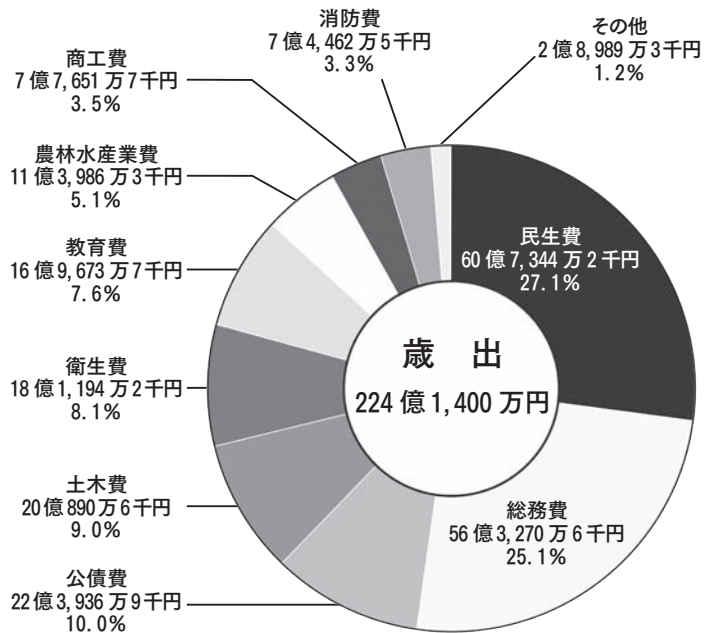


歳入の主な特徴

- ◇市税は、雇用情勢の改善など給与所得の伸びによる個人市民税の増、また、北陸新幹線に係る固定資産税償却資産の増により、前年度比6.7%増を見込んでいます。
- ◇市債は、前年度比9.5%増を見込んでいます。増額の主なものは、新庁舎整備事業費や防災行政無線デジタル化整備工事費の増による借入額の増などによるものです。
- ◇県支出金は、前年度比2.0%増を見込んでいます。増額の主なものは、産地パワーアップ事業補助金の増などです。

歳出の主な特徴

- ◇民生費は、新みなみ保育園建設工事の終了に伴う保育所維持整備事業費の減、障害基礎年金等受給者対象の臨時福祉給付事業が前年度で終了したことなどにより、前年度比10.6%減を見込んでいます。
- ◇総務費は、新庁舎整備事業費や防災行政無線デジタル化整備事業費、情報ネットワーク設備等構築工事費、公衆無線LAN整備工事費などの増により、前年度比31.1%増を見込んでいます。
- ◇教育費は、図書館のエレベーター整備工事費や中学校のコンピューター等設定業務委託料などの増により、前年度比4.4%増を見込んでいます。



会計別予算額

一般会計は、市が行う事業の大部分を占め、市民の皆さんから納付していただく市税や、国、県からの交付金などが主な財源となります。

これに対して特別会計は、特定の事業を行うための予算で、主に保険料や使用料などの収入で賄われています。

また、企業会計は、事業で得る収入によって支出を賄う独立採算型の会計となります。

※表中の△は、マイナスを表します。

会計名		予算額	前年度比
一般会計		224億1,400万円	1.3%
特別会計	国民健康保険事業	61億4,839万9千円	0.4%
	後期高齢者医療事業	4億6,128万4千円	0.9%
	介護保険事業	45億3,543万1千円	3.6%
	倭財産区事業	64万6千円	2.9%
	永田財産区事業	53万2千円	30.4%
	中野財産区事業	186万4千円	△0.9%
	計	111億4,815万6千円	1.7%
企業会計	下水道事業	43億6,210万9千円	5.9%
	水道事業	15億870万7千円	△8.9%
	計	58億7,081万6千円	1.7%